

中央線が好きだ。

magazine

vol.4 2015

昔女歩の達人



八王子
西八王子

富士森公園



1. 花見の名所、桜並木。
2,3. かわいい遊具があり、親子でのんびり楽しめる児童公園。

街中にある歴史ある公園

八王子市の中心部の市街地にある公園。野球場、陸上競技場、テニスコートなどの運動施設が充実。南側は丘陵の勾配を生かした散策路が続き、中腹にある桜並木は八王子を代表する花見スポットとしても名高い。また、丘の上には浅間神社の社殿があり、イチョウの大木などのある境内には参拝者の姿も。一方、北側の一角には遊具のある児童公園があり、親子連れでにぎわっている。

DATA JR中央線八王子駅南口からバス約4分の「富士森公園」下車すぐ、または西八王子駅南口から徒歩約15分。八王子市台町2-2。☎042・620・7271（八王子市公園課）※テニスコートは現在、全面改修工事中。平成28年1月末再オープン予定。

中でも外でも楽しくにぎやか。

カラフルでにぎやかな室内遊び場

市の施設「親子つどいの広場ゆめきっず」と遊具や世界の遊び道具を扱うポーネンドが運営する室内遊び場「キドキド」が併設されたユニークな施設。入り口でどちらを利用するかを選ぶようになっている。どちらの遊び場もポーネンドがプロデュース。体全体を使って遊ぶことのできる大型の遊具が多く、子どもたちに大人気。ゆめきっずでは子育ての悩みを相談することもできる。キドキドは、ゆめきっずの登録カードを提示すれば割引もある。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約1分。八王子市旭町1-1 セレオ八王子北館6F。ゆめきっず／10時～17時、日曜・祝日休。無料。☎042・686・3356。※子どもの利用は八王子市内在住の3歳未満

キドキド／10時～19時（受付は18時30分まで）、元日・年2回不定休。子ども30分600円（延長10分ごとに100円）、大人500円（延長料金なし）。☎042・686・3355。※子どもの利用は6か月～12歳
1. 親子で遊べるゆめきっずのカラフルな遊具。2. ゆめきっずでママさんの相談を受けるスタッフの木村広美さん（左）。3. 右がゆめきっず。左がキドキドへの入り口。4.5. 子どもの「こころ・頭・からだ」のバランスがとれた成長を、遊びを通じて促す遊具が集められているキドキド。楽しい遊具がいっぱいで子どもたちに大人気。

キドキド × ゆめきっず

八王子市は南北と西側の三方を山と丘陵に囲まれた自然豊かな地域と、東側の開けた市街地で構成されている。江戸時代には甲州街道の宿場町として栄えており、今もその歴史を物語る店構えの店舗が新しい店と並び立つ。それがこの街の独特な雰囲気を生み出している。

者が語らい、はつらつとした雰囲気をも出し出す。駅周辺は、ショッピングはもちろん、親子が楽しめるスポットやサービスが充実している。たとえば駅ビルには市と企業が提携して設けた、子どものための遊びの広場があり、連日多くの親子でにぎわっている。ママやパパが子ども連れでも安心して入ることのできるカフェ「おもちゃカフェ」や「Dattochi」も徒歩圏内だ。

また、乳幼児のいる親への市のサポートも手厚い。駅周辺の、市の施設3カ所までベビーカーを無料で貸し出す「はち☆ベビレンタール」を実施している。自治体によるベビーカーの無料貸し出しは全国でも非常に珍しい試みだといえる。さらに授乳おむつ替えができる「赤ちゃん・ふらっと」というスペースが市内103カ所に設けられている。ほかにも幼児向けの小型遊具がある「富士森公園」、森の中の散策を楽しめる「小宮公園」など、親子に人気のスポットも事欠かない。

見て触れて創って科学を感じる

「遊びながら“科学する心”を育てる」をコンセプトに、子どもたちが科学を身近に感じ、関心を持つきっかけとなることを目的とした施設。最新型のプロジェクターを備えたプラネタリウムは、美しい星空と迫力のある映像で大人も楽しめる。また展示室には、実際に触ったり、動かしたり、科学の原理や仕組みを体感することのできる展示物が並ぶ。土・日曜・祝日には親子で楽しめる工作教室や実験ショーなども開催している。

DATA JR中央線八王子駅北口からバス約10分の「サイエンスドーム」下車徒歩約2分。12時～17時（火～金曜）・10時～17時（土・日曜・祝日、春・夏・冬休み期間）、月曜（祝日の場合は翌日と翌々日）・年末年始休（11月30日～平成28年1月15日は施設一部改修のため休み。メンテナンス期間なども休館になる場合あり）。大人200円・子ども100円（プラネタリウムは別途）。八王子市大横町9-13。☎042・624・3311

プラネタリウムではお子さんも宇宙を身近に感じられます。
1. エネルギーや光、音などに関する科学の原理を遊びながら学べる1階展示室。2. 高所からボールを転がして、エネルギーの変化を目で見て理解できるボールコースター。3. 子どもにも興味を持ってもらえるように、星空や宇宙開発をテーマにしたアニメを使った映像など、多彩なプログラムを用意しているプラネタリウム。4. スタッフの森融さん。

コニカミノルタサイエンスドーム

（八王子市こども科学館）



こんなところに住んでみたい
この街、居心地・住み心地
歴史ある宿場町と、にぎやかな商業地区という2つの顔をもつ八王子。少し足を延ばせば自然を感じられる場所もあちこちにある。伝統を受け継ぎつつ、変化を受け入れる柔軟な懐の深さをもつ街だ。古くて新しい八王子に出かけてみよう。



つるや製菓

八王子駅前から伸びる西放射線ユーロードにある、人気のまんじゅう店。販売しているのは直径5cmほどの都まんじゅうのみ。熱々のできたてを提供して、行列のできる名店だ。小ぶりでさっぱりとした白あんはいつでも食べられ、まとめ買いする人が多い。1個35円という値段も魅力。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約3分。8時～18時、水曜休。八王子市旭町7-8。☎042-626-0223



左/行列していても、製造工程が外から見られるので、飽きることがない。下/まとめ買いする人が多いので、10・20・30個などの詰め合わせにしている。



行列のできる
八王子を代表するまんじゅう

八王子ラーメン・初富士

魚介ベースの醤油スープ、表面を油が覆い、刻みタマネギが入っているという八王子ラーメンのスタイルを確立したことで知られるラーメン店。現在は2代目が父の味を守り、駅から離れた住宅街にあるにもかかわらず、ひっきりなしにファンが訪れる。市内の八王子ラーメンを提供している店舗では「八麺会」を結成しており、会のホームページで店舗情報をチェックして、食べ比べに出かけるのも楽しい。

DATA JR中央線八王子駅北口からバス約13分の「中野」下車徒歩約3分。11時～19時、日曜休。八王子中野上町4-17-4。<http://www.hachimen.org/> (八麺会)



特徴の八王子ラーメン



上/店主の大川政廣さん。左/ワンコインで提供できるようにと中華そばの並は500円。シンプルながら飽きのこない味。

子育て中のママやパパを地域とつなげていきます。



おもちゃカフェ dattochi 園長 西室真希さん

こうしたイベントから人のつながりがさらに広がり、街の魅力をいっそう増していきたいと思います。

八王子が誇る伝統の逸品をお試しください。



ベネック (八王子織物工業組合直営ショップ)

400年あまりの歴史をもつ、八王子の織物の伝統を受け継ぐ八王子織物工業組合の直営ショップ。ネクタイ、ストール、マフラー、バッグなどを販売している。人気はネクタイの代わりに襟にピン付けする、小型版ネクタイの「p-Tie(ピータイ)」。直売のため市価よりお得な値段で購入できる。東京都伝統工芸品にも指定されている多摩織による反物などの展示販売も行っている。

DATA JR中央線八王子駅北口からバス約7分の「織物組合前」下車すぐ。10時～17時30分、水・日曜・年末年始・お盆休。八王子市八幡町11-2 八王子織物工業組合ビル1F。☎042-626-0891



ベネックの「p-Tie」

さっぱりスープとタマネギのシャキシャキ感を味わってください。

市民のための身近な美術館



八王子市夢美術館

市民が気軽に楽しめる「くらしの中の美術館」として誕生した、ビルの中にある市立の美術館。年6回の特別展を開催している。ファインアートのみならず、アニメーションや漫画も取り上げるなど、肩肘張らず、気軽に楽しめるとあって人気が高い。そのほか八王子にゆかりのある作家の作品を中心に収蔵品展示も行っている。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約15分。10時～19時(入館は18時30分まで)、月曜(祝日・振替休日)の場合は翌平日・年末年始休。料金は要問い合わせ。八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子2F。☎042-621-6777



上/収蔵品展示。隣の展示室では特別展を開催している。下/入り口横にあるグッズ販売コーナー。

伝統の織物製品をお得な値段で



左上/販売員の椎名明美さん。上/女性用のショールと男性用のネクタイが主力商品。下/伝統工芸の多摩織の織機も展示されている。

親子で思いきり遊ぶことのできるスポットや、織物からまんじゅう、ラーメンまで、いろいろな八王子名物も大集合。八王子を知って楽しむお散歩へ出かけたい。



雑木林の中で虫や鳥と出合えるかも!?



小宮公園

コナラやクスギの雑木林に覆われた丘陵の自然を生かして造られた都立公園。園内の散策路は、「ひよどりの小道」など、野鳥にちなんだ名が多く、バードウォッチングを目的とした人も訪れる。低地には池があり、勾配のなだらかなエリアには木道も整備され歩きやすい。また、公園西側には遊具のある一角もあり、園内のところどころにテーブルと椅子が設けられているので、親子でピクニックも楽しい。

DATA JR中央線八王子駅北口からバス約5分「八王子郵便局」下車徒歩約10分。☎042-623-1615

上/子どもに人気の遊具広場の足元にはウッドチップが敷かれ、幼児でも安心。下/木道が設けられているので、誰でも雑木林の散策をゆったり楽しめる。

フルーツつねかわのバナナ



他とはひと味が違うバナナを味わってください。おやつにもおすすめですよ。



右上/店頭にはいつも名物のバナナが置かれている。いつ食べるかによって、熟成度を見ながらスタッフが最適なものを選んでくれる。上/スタッフの恒川千賀子さん。

甘さや旨味が抜群の極上バナナを



フルーツつねかわ

昭和5年(1930)創業の老舗の果物店。名物は最高の状態になるまで寝かせ、甘みと旨味を引き出したエクアドル産のバナナ。1本から購入できるので、散歩のおともにぴったり。そのほか、厳選した最高級の旬のフルーツも扱っている。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約9分。10時～18時30分、水曜・年始休。八王子市横山町19-3。☎042-642-0626

八王子まち歩き

はちおうじ

つるや製菓の都まんじゅう



子どもは遊ぶ、大人はカフェタイム



おもちゃカフェ dattochi

子どものためのプレイスペースを備えた親子カフェ。子育て中の親同士が出会える場、子育てに仕事にがんばるママやパパにリラックスできる時間をもってもらえる場として、自身も育児真っ最中の園長がオープンした。木の温もりを感じるインテリアと明るい色調の壁の絵が心を和ませる。ドリンクやスイーツのほか、一日に必要な野菜の摂取量の、半分以上を使ったランチが好評。親子のためのイベントも開催している。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約12分。11時～16時(15時30分LO)。水曜・年末年始・お盆休。八王子市明神町2-14-12。☎042-657-3795

ゲームや腹話術などで楽しみながら交通ルールを学べますよ。



東浅川交通公園

街中の道路や信号機などを子どもサイズで再現し、安全に交通ルールやマナーを学ぶことができる公園。常駐の交通安全教育指導員が安全教育を行っており、自転車や三輪車、豆自動車は無料で貸し出している(自転車の持ち込みは禁止)。第1、第3水曜には屋内で交通安全教室を開催している。

DATA JR中央線西八王子駅南口からバス約5分「西郵便局入口」下車徒歩約2分。9時～16時(4～9月は～17時)、12月29日～1月3日休。無料。八王子市東浅川町559。☎042-661-1085



左上/指導員の奥住美由紀さん。上/子どもたちは自由に園内で遊べるが、指導員が見守っていて、状況を見ながら交通ルールを教えている。

この人に聞く

八王子の魅力

「八王子の人たちは面倒見が良く、温かい人が多いんです」

と、おもちゃカフェ dattochi の園長、西室真希さんは八王子の魅力語る。西室さんは生まれも育ちも八王子。市内の老舗呉服店の若旦那と結婚し、今は3歳と4歳の男の子、2児のママでもある。

「2人が赤ちゃんの頃から、商店街の人たちが何かと面倒をみてくれて、本当に助かりました」

西室さんがカフェを始めたのは、呉服店のお客さんの紹介で、同じ年頃の子をもつママと知り合ったのがきっかけ。自分と同じように子育てに奮闘している人たちが交流

でき、リラクゼーションできる場所を作ろうと思い立ったのだそう。

昨年、西室さんはカフェで知り合ったママたちとともに、「新たに八王子に住み始めた人たちが、この街にすんなり溶け込める機会を作りたい」と、「ファミリーフェス in はちおうじ みんなのキャンパス」という親子のためのイベントを立ち上げた。

2年目の今年は、八王子駅南口広場や駅ビルのイベントスペースに親子で工作をしたり、オリジナルアクセサリーなどを作ったりするワークショップ村、たくさんのおもちゃで遊べるおもちゃ村、歌や踊りを披露するステージ村、ママやパパが特技を生かした手芸や工作などを展示するママ村、パパ村、さらには馬に乗ることもできるひとやすみ村などを開催。親子で一日たっぷり楽しめるプログラムで好評を博し、今後も恒例のイベントとして定着しそうだ。

こうしたイベントから人のつながりがさらに広がり、街の魅力をいっそう増していきたいと思います。



昭和40年ごろの「織物の八王子」タワーと八王子駅。
撮影：瀬沼和重氏

街の生い立ち

History in this town

織物は今、八王子の伝統工芸として守られているが、長きにわたり街の発展に大きな役割を果たしてきた。

昭和40年ごろの「織物の八王子」タワー。だが、昭和40年代以降、織物業は急速に縮小。ネクタイやショールの生産へとシフトし、タワーも駅前北口再開発のため平成9年に撤去された。その後、織機の機械化が進むとともに織物業はさらに発展。大正時代には八王子は織物の街として全国的に知られるようになる。第二次世界大戦のため、一時途絶えたが、昭和20年代半ばには完全復活。その象徴ともいえるのが、昭和35年に八王子駅北口のロータリーに建てられた「織物の八王子」タワー。だが、昭和40年代以降、織物業は急速に縮小。ネクタイやショールの生産へとシフトし、タワーも駅前北口再開発のため平成9年に撤去された。

その後も、織機の機械化が進むとともに織物業はさらに発展。大正時代には八王子は織物の街として全国的に知られるようになる。第二次世界大戦のため、一時途絶えたが、昭和20年代半ばには完全復活。その象徴ともいえるのが、昭和35年に八王子駅北口のロータリーに建てられた「織物の八王子」タワー。だが、昭和40年代以降、織物業は急速に縮小。ネクタイやショールの生産へとシフトし、タワーも駅前北口再開発のため平成9年に撤去された。

八王子が江戸時代に宿場町として大いに栄えたことはすでに触れたが、もうひとつ街の発展を語るうえで欠かせないのが織物業。もともと多摩地域では農家の副業として細々と養蚕、製糸などが行われていたが、江戸時代末期の横浜開港をきっかけに、八王子はその地の利から生糸の集積地となった。さらに海外への輸出用の生糸の増加とともに、街はいっそうのぎわいをみせた。

その後、織機の機械化が進むとともに織物業はさらに発展。大正時代には八王子は織物の街として全国的に知られるようになる。第二次世界大戦のため、一時途絶えたが、昭和20年代半ばには完全復活。その象徴ともいえるのが、昭和35年に八王子駅北口のロータリーに

最新号 『散歩の達人』12月号 発売!

巻頭特集
街の名物、詰まっています!
東京みやげ
お歳暮や帰省、クリスマスなど贈り物をする機会も多い年末。そんな時期に役立つ「おいしい東京みやげ」を大特集。とにかく役立つ一冊です。
あの街のみやげ〜中央線&山手線沿線・東京駅・新宿駅ほか
お茶+焼き菓子セット、酒に合うつまみやげ/大福&シュークリームコレクション/サンドイッチと、寿司さえあれば「お年賀にしたいみやげ」1月号(12月21日発売予定)は「大宮・浦和」を特集予定。

※本冊子の情報は2015年11月現在のものです。※料金・営業時間・休(館)日、イベント内容・期間などは変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。※営業時間・休(館)日はゴールデンウィーク、お盆、秋の連休、年末年始などは変更になる場合があります。※掲載の写真・地図などは全てイメージです。

中央線が好きだ。マガジン 2015 vol.4
2015年11月発行
発行|東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社
制作|株式会社ジェイアール東日本企画
編集|株式会社交通新聞社
表紙写真|野中弥真(人.P.M.A.トライアングル)
協力|公益社団法人 八王子観光協会



❖ 甲州街道イチョウ並木

大正天皇の御陵である多摩陵の造営を記念して昭和4年(1929)に植樹。甲州街道と陣馬街道が分かれる追分町の交差点から、高尾駅前の交差点まで約4kmにわたり道の両側に並木が続いている。その数約770本。春から夏の緑の時期も見ごたえがあるが、秋に黄金色に輝く木々が延々と続く様子はみごと。

DATA JR中央線西八王子駅から徒歩約2分。



❖ 荒物加島屋

街道沿いでもひととききま目につく蔵造りの建物。屋根の黒い瓦と2階に見える白い観音扉の対比が鮮やか。屋根の両脇の鬼瓦も印象的。明治半ばに建造され、当時は塩や石けん、油などを扱う卸問屋だったが、現在はさまざまな日用品やタバコを扱っている。関東大震災や戦災にも耐え、補修を加えられながら、かつての姿を今にとどめている。

DATA JR中央線八王子駅北口からバス約7分の「織物組合前」下車徒歩約1分。9時~18時、日曜・第3土曜・祝日休。八王子市八幡町11-6。☎042-625-0144



❖ 伊勢屋本店

昭和初期創業で約80年の歴史をもつ和菓子屋。看板商品のだんごは昔ながらの製法を守り、今も手作り。人気のみたらしだんご60円は、香ばしく焼き上げた大ぶりのだんごにたっぷり絡んだ甘さ控えめのたれが絶妙にマッチ。イートインスペースではお茶のサービスもあり、散歩中にひと息つくにもおすすめ。季節の和菓子や巻き寿司、赤飯なども販売している。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約11分。9時~18時、水曜(祝日の場合は翌日)・年末年始休。八王子市八日町10-3。☎042-622-2904

甲州街道の風景

❖ 歴史の足跡を見つける

八王子駅、西八王子駅の北側を東西に走る甲州街道。江戸時代、八王子は街道随一の宿場町であり、今も地名にその名残を感じる。明治以降も商業地としてにぎわい、第二次世界大戦で空襲に見舞われたが、商店街には戦火を逃れた老舗が残り、往時の風情を今に伝えている。また、沿道には日本有数のイチヨウ並木も。そんな歴史的なスポットや老舗をご紹介します。



千人町/千人同心の屋敷があったことが地名の由来。



❖ 八王子千人同心屋敷跡記念碑

江戸時代、八王子近辺の村々には、千人同心と呼ばれる軍事集団が存在した。その主な任務は東照宮のある日光火の番で、交代で勤めたが、公務以外は農民として暮らしていた。千人町には甲州街道をはさんで千人頭と、一部の千人同心の屋敷があった。千人頭の一人、原家の屋敷跡付近に記念の石碑が建てられている。

DATA JR中央線西八王子駅北口から徒歩約15分。八王子市追分町11。



追分町/甲州街道と陣馬街道の分岐点(追分)が地名の由来。



八幡町/八王子十五宿のひとつ八幡宿が地名の由来。



❖ 黒沼鯉節店

慶長年間(1596~1615)創業と伝わる鯉節店。現在の店主は23代目。江戸時代は旅籠を営んでいたが、明治に入ってから鯉節を扱うようになったといわれる。かつては甲州街道沿いにあったが、15年前に西放射線ユーロード沿い、街道寄りの現在地に移転した。厳選した鯉節と乾物、豆類を販売し、最近の和食ブームから若い世代も多く訪れるという。

DATA JR中央線八王子駅北口から徒歩約8分。10時~18時30分、不定休。八王子市横山町14-8。☎042-622-0644



横山町/八王子十五宿のひとつ横山宿が地名の由来。



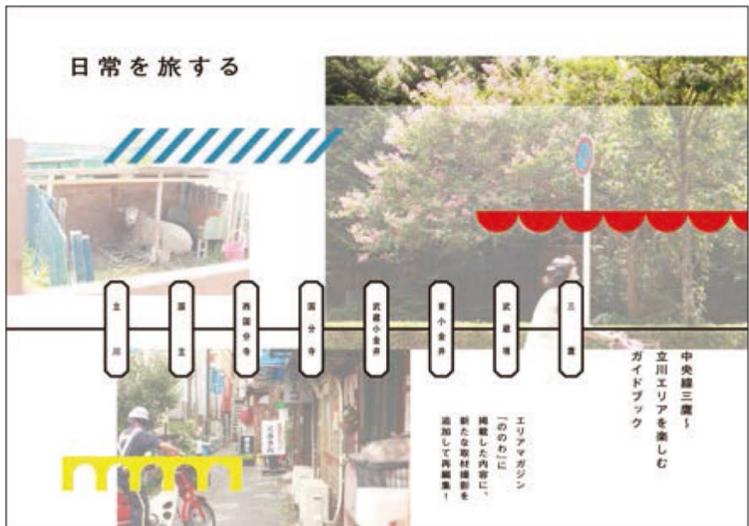
八日町/八王子十五宿のひとつ八日宿が地名の由来。



ののわ

地域で出会った人

『ののわ』から生まれたガイドブック刊行



『日常を旅する』のカバー。

「ののわプロジェクト」のひとつとして、平成24年11月から同26年11月まで発行されたエリアマガジン『ののわ』。三鷹から立川の間の魅力を発掘し伝えるとともに、地域に根ざしてさまざまな活動をしている人たちを紹介してきた。中央線の各駅で手に取られた方も多いのでは。その、これまでに発行された25冊の『ののわ』をベースに再編集し一冊にまとめた『日常を旅する』が11月に出版された。『ののわ』誌



萩原 修 さん
デザインディレクター
つくし文具店店主

Information

『日常を旅する 中央線三鷹～立川エリアを楽しむガイドブック』
けやき出版/144頁/1400円+税
三鷹～立川間の公園、神社、カフェ、パン屋、レストラン、日用品店、書店、ギャラリーなど、約200カ所を収録。エリアの魅力がたっぷり詰まった一冊。

撮影協力
PAPER WALL nonowa 国立店

の編集長を務めたデザインディレクターの萩原修さんに、制作時の思い出や新刊について話を伺った。
「ののわプロジェクトに関わるようになったのは、フリーで仕事を始めて8年ほど経った頃で、すでに仕事の軸足をこの地域に移していたところでした。地域に住む人とのつながりを広げ深めるといふプロジェクトの目的を共有し、一緒に盛り上げたいと考えました」
萩原さんは国分寺育ちで、三鷹在住。制作スタッフも『ののわ』で取り上げるエリアで活動している人たちが集まった。

『ののわ』は、武蔵野の緑と水の風景、地域で活動する人たちが、そしてこの地域ならではの店や施設の紹介、この3本の柱で構成。なかでも地域で活動する人の紹介では、誌面のみならず、トークイベントや、ゲストを招いた対談イベントを開催して誌面に収録したりするなど、立体的に展開した。
「この2年間で、地域で活動する方々のネットワー

クが広がりました。また、探せば探すほど地域に根ざした面白い店が見つかったのは収穫です」と、当時の思い出を語る。
新刊の『日常を旅する』は、『ののわ』に掲載した店舗とともに、新たに約60カ所を取材し、総数約200カ所を紹介するガイドブックになった。
「駅ごとに紹介する雑誌やフリーペーパーはあっても、『ののわ』の地域をまとめたガイドブックは見かけません。独自のエリア感も楽しんでもらえるとうれしいですね」
編集スタッフが街を徹底的に歩き回り見つけた店を、時には複数回訪れたうえで紹介しているという。この地域で暮らす人、働く人にとつては日常的に使うことができ、訪れる人には街歩きのお供として大いに役立ちそうな一冊。これを持って『ののわ』エリアの日常を旅してみたいかがだろう。



全25冊が発行された
エリアマガジン『ののわ』

TOPICS

武蔵小金井駅がますます便利に！

平成27年12月12日、武蔵小金井駅西側高架下にnonowa武蔵小金井WESTが開業。同時に、西側高架下に交通系ICカード専用の改札「nonowa口」（営業時間7時～22時）を新たに設置し、武蔵小金井駅がより便利に。WESTは、地域の方々に日頃から利用してもらえよう、デイリーユースを重視し、ファッションから食品まで幅広く取り揃え、素敵なモノ・コトとの出

会い・発見を楽しめるライフスタイルゾーンとして構成。ぜひ、お楽しみください！

WEST
館内イメージ



北側外観イメージ

詳細情報は右記URLで <http://www.nonowa.co.jp/>

※画像は全てイメージで、変更になる場合がございます。

ののわプロジェクトとは

「ののわ」は、「緑×人×街 つながる」を合言葉に、中央線の立体交差化で北と南がつながった三鷹から立川間の魅力を引き出すプロジェクト。「nonowa(ののわ)」※は、豊かな自然や、個性ある文化と駅と街をつなぐ、「武蔵野の『輪・和』になりたい」という願いを込めて名付けられたプロジェクトの名称です。東京のまん中にあるこのエリアで、地域の魅力を共有し、暮らし方や働き方を見つめ直すことで、この地域ならではのライフスタイルを探っていきます。



武蔵野3原色の「土・水・緑」の「わ」が重なる「nonowa」のハート。中央線の自然と文化が融合し、新しいライフスタイルがはじまります。

ののわウェブサイト
<http://www.nonowa.co.jp/areamagazine/>

※株式会社JR中央ラインモールが運営する商業施設の名称としては、英文字で「nonowa」と表記しています。